

城と史蹟を歩く会「江戸城と将軍ゆかり地を歩く会」準備会資料

「葵 徳川三代」と江戸城=江戸城の概要といざない

山岸 弘明

日時=平成13年2月20日(火曜日) 14時30分~15時30分(予定)

1) はじめに (江戸図と大名武鑑)

- ①江戸図鑑綱目 元禄4年1691年(5代将軍綱吉時代) 石川流宣作
- 改選江戸大絵図 " 15年1702年( " ) 遠近道印作
- 分間懐宝御江戸絵図 文政7年1824年(11代将軍家斉時代) 須原屋版
- 泰平御江戸絵図 弘化2年1845年(12代将軍家慶時代) 高井蘭山作
- ②文政武鑑 文政元年1818年(11代将軍家斉時代) 尾張屋版

2) 最盛期の江戸を伝える江戸図屏風 葵川 野恒 絵図

- ①国立歴史民族博物館(佐倉)所蔵。国宝  
6曲左右2隻、各扇162×366cm。金地著色(極彩色)本間屏風。作者、制作年代不詳
- ②寛永はじめ?寛永12年の江戸城総構え工事で完成した外堀が描かれていない。

江戸元禄図は数少ない。1842. 江戸図 オリジナル 大坂 国史院 文正 国史院  
32坪(13畳)五井紙 石有馬様 左三ツ目(家文) 1427

富士山 品川	増上寺	目黒 愛宕山 新橋	山王 霞が関 目比谷	吹上 皇居 大手町 日本橋	北の丸 東御苑 橋		寛永寺 不忍池		板橋 浅草	川越		
東京湾												
6扇 左隻	5扇	4扇	3扇	2扇	1扇	表紙の絵図	6扇 右隻	5扇	4扇	3扇	2扇	1扇

3) 日本最大の名城 —— 江戸城の概要

- ①江戸幕府の政庁所在地。徳川将軍家居城  
わが国城郭建築の結晶。ダントツ日本一の名城
- ②本丸、2の丸、3の丸(現在の皇居東御苑) 9万坪=0.3平方km
- 西の丸 (皇居) 7万坪=0.2平方km
- 吹上お庭 (吹上御苑) 18万坪=0.6平方km
- 北の丸 (北の丸公園)
- 西の丸下 (皇居外苑)
- 大手前郭 (大手町、一橋1丁目)
- 丸の内郭 (丸の内、有楽町)
- 外郭 (上記を除く千代田区) 合計12平方km
- ③12世紀中ごろ 江戸重継が江戸館構築
- 長禄元年1457年 太田道灌が築城。上杉氏の支城になる
- 大永4年1522年 道灌暗殺され、のち北条小田原氏の支城になる
- 天正18年1590年 豊臣秀吉、小田原攻略。徳川家康江戸入り関東8か国250万石
- 慶長5年1600年 家康、関が原の合戦に勝つ
- " 8年1603年 家康、江戸に幕府開く。本格築城工事開始
- 寛永12年1635年 家光、外堀を築いて総構えとする。江戸城完成
- 明暦3年1657年 江戸大火、江戸城天守閣など焼失、万治2年再建、以降3回焼失
- 元治元年1864年 本丸御殿造営にいたらず、西の丸に仮御殿を立て本丸機能を移す
- 慶応4年、明治元年1868年 慶喜、鳥羽伏見の戦いに敗れ江戸開城。明治天皇東京遷都

4) 丸の内や北の丸に絢爛豪華な桃山風大名上屋敷がならぶ

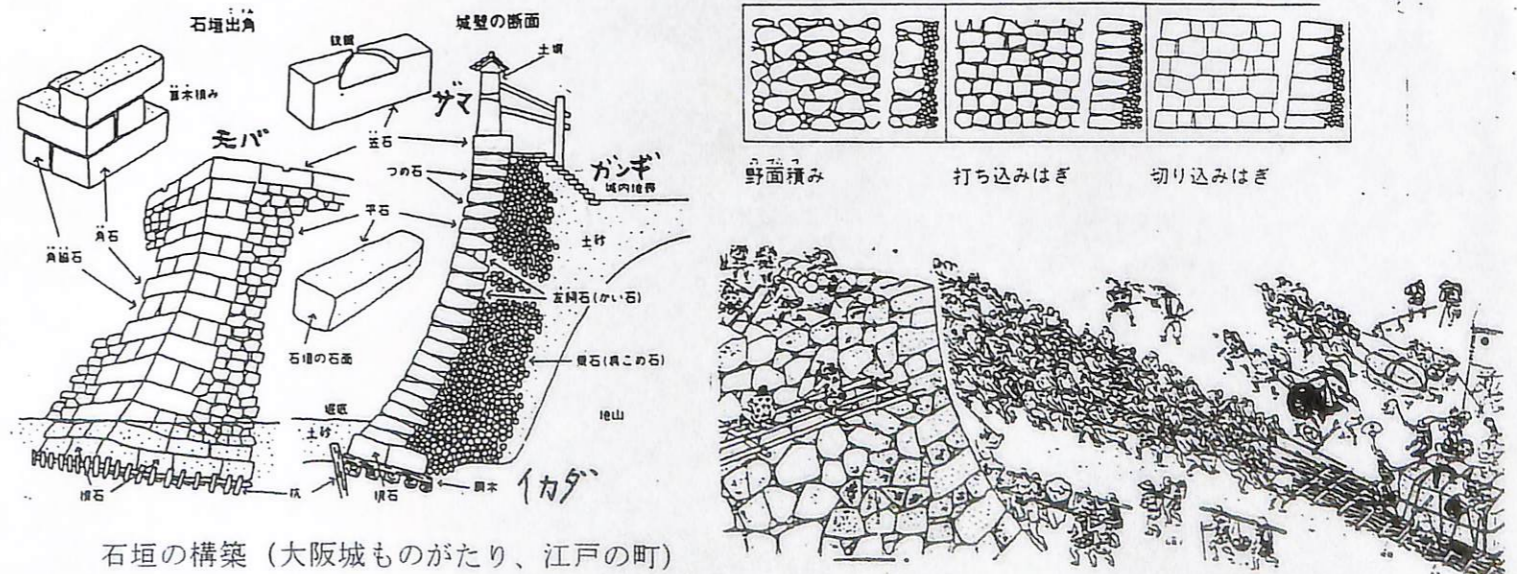
- ①明暦の大火1657年以前、1国1城を意識した外様大名や徳川親藩邸が連なる
- ②外桜田=伊達政宗、鍋島直茂、毛利元就、上杉景勝、黒田長政、加藤清正(のちに井伊直政)  
吹上お庭、北の丸=尾張義宣、紀伊頼宣、水戸頼房、徳川忠長  
丸の内=松平忠輝(のち松平忠昌)、前田年長、池田輝政など
- ③「この1両年中、諸大名江戸屋敷、屋敷の家作美を尽くし、門は上総介(松平忠輝)江戸一番なり。家は加賀国松平筑前(前田年長)1番なり」(当代記=慶長時代)
- ④松平忠昌邸、前田年長の場合  
敷地面積3~4千坪(後期に比べると小さい)  
屋敷周囲を低い石垣、白壁で囲み、四隅に隅櫓をあげる。濠はないが城のように豪華な御成門(御成り以外明けない)。切妻両軒唐破風檜皮葺き、金張彫刻、日暮らし門表門(主人の公式出入り)。大棟四脚門(前田家は櫓門)、本瓦葺き  
御成御殿=中門、上段の間付き大広間、上段の間付き書院、能舞台、数寄屋、老中の間など  
表御殿=玄関、遠侍、色代、大広間、書院、藩庁舎  
中奥御殿=藩主の居所。奥御殿=正室(人質)、側室、子女の居所。家臣は周囲の長屋上屋敷のほかに中屋敷(世子邸または予備邸)、下屋敷(別荘)がある

5) 水濠の水源と水量の調節のナゾ

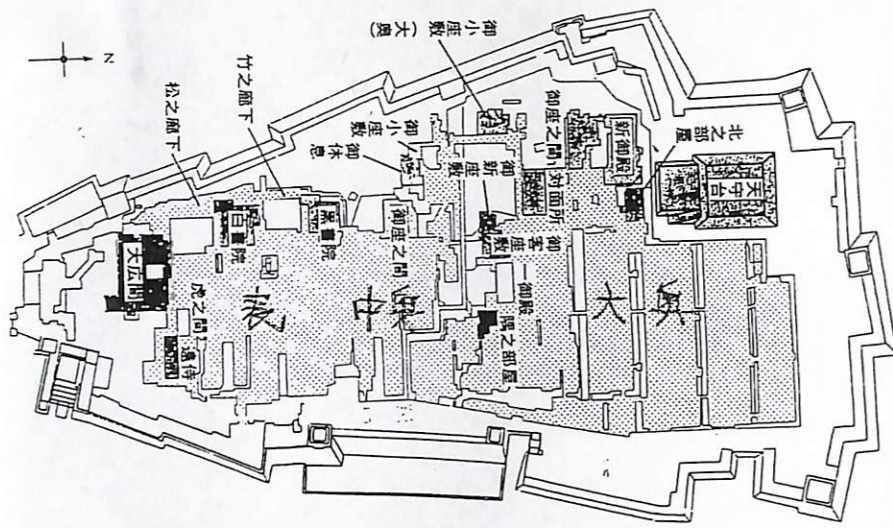
- ①水源=田安台(北の丸公園)、紅葉山(皇居)の自然水。千鳥淵、牛が淵、半蔵濠にわき水かつてはきれいで透明。都市のコンクリート化で水量枯渇のため流れ悪く汚れめだつ
- ②濠は両面石垣積み平底船形。意外と浅く大手側は深さ1.5mしかない
- ③門の橋台でそれぞれの濠を独立させ、オーバーフローさせて次の濠に送る  
始発濠からの高度差15mを利用して徐々に下流へ
- ④内濠終点龍の口、日比谷濠から外堀へ。外堀から江戸(東京)湾へ

6) 石垣 —— 3つの顔と構築

- ①大手側の石垣=壮重、厳粛な表の顔  
北の丸側の石垣=濠深く高い石垣。堅固、権力の象徴。何者も寄せつけない男性的な力強さ  
西の丸側の石垣=なだらかな土塁上に低い石垣(鉢巻土居)。柔和、調和。女性的美しさ
- ②縄張り=藤堂高虎、石材調達=加藤清正、池田輝政、福島正則、黒田長政ら
- 石垣は西国大名、石組専門集団穴生衆活用。土木工事(掘堀り)は東国大名
- ③石材の掘出し=伊豆半島東海岸などから。げんのう、石ミノで矢穴明けて切り出す
- ④海上輸送=石船3千隻、百人持ち石2こ積み、月2往復、台風で2百隻沈没も
- ⑤地上輸送=巨石はシュラにのせフエタイコにあわせて数百人で。大石はコロガシ丸太、ロクロ巻き上げ。中石は石持棒、ベカ車、小石はショイコ、モッコ
- ⑥石積み=諸大名の企業秘密。いったんロクロで後方の土塁に引き上げて釣り下ろす、前面にスロープつくるなどの説がある
- ⑦野面積み、打ち込みハギ、切込みハギ。算木積み



石垣の構築(大阪城ものがたり、江戸の町)



弘化度本丸殿舎 (戦略技術兵器事典)

寛永度天守閣  
(江戸の町)



- ③建造8回=天正19年、慶長18年、元和8年、寛永14年(16年焼失)、寛永17年(明暦3年)、万治2年(天保15年)、弘化2年(安政6年)、万延元年(文久3年)
- ④弘化2年度(最後から2番目)の江戸城本丸工事費=170万両。現在に換算3,000億円+X木材=ヒノキ中心に20万本。御三家などに命じて全国から良材を集めた
- ⑤最後の本丸御殿は文久3年焼失、慶応2年最後に残った2の丸御殿も焼失、城内の御殿すべてが無くなるという珍事態に。元治元年、西の丸に仮御殿を建て最後の4年間仮本丸とした。幕末混乱期、付け火の噂が絶えず將軍家茂の食事は紀伊からしたがった老女が調理した。
- ⑥本丸造営はいわば国家予算にも匹敵。將軍家にもはや本丸建築の予算もなかった。

9) 歴代將軍が起居した皇居東御苑 —— 江戸城へのいざない

- ①江戸幕府、徳川將軍家の本拠、江戸城址の中心部が東御苑に現存している。水濠、石垣、升形門、天守台、櫓、本丸殿舎跡などが精度よく保存され、2の丸庭園が復元されている。
- ②皇居東御苑=千代田区千代田1-1。東京駅徒歩15分。月、金曜日、年末年始、皇室特別行事日のぞく9-15時。入苑無料。

天守閣の変遷

代数	初代	2代	3代	4代	備考
建造者	徳川家康(秀忠)	徳川秀忠	徳川家光	徳川家綱	*天守閣建造なし(別説)
建造年	慶長12年	元和8年	寛永15年	万治元年	
規模	日本最大	若干縮小	華やかに改造	天守台のみ建造*	
位置	本丸中央あたり	北はね橋前	2と同じ	2と同じ、現存	
総高さ	80m	70(60)m	52(64)m	—	
台高さ	18(20)m	13m	11(13)m	12.7m	
初重	20×20間	20×18間	20×18間	—	
石材	白御影石撰津熊野	黒伊豆石?	黒伊豆石	白花崗岩	
築台者	伊達、上杉ほか	浅野、加藤ほか	黒田、浅野	前田綱紀	
屋根	鉛瓦葺大入母屋	銅瓦葺大入母屋	銅瓦葺大入母屋	—	
シャチ	木組金張3m	金張り	木組金張3m	—	
層重	5重5層地下1階	5重5層地下1階	5重5層地下1階	—	
形式	連立式?	不明	大天守、小天守	大天守、小天守台	
壁面	白漆喰仕上げ	破風張出	アスファルト塗装	—	
最後	本丸増築取壊移転	作り直し	明暦3年焼失	天守台現存	

7) 上物の軽量化と堅固な櫓台の構築で可能にした巨大天守閣

- ①天守閣=城の象徴で中心となる高層の櫓
- ②織田信長安土城天守閣  
豊臣秀吉大阪城天守閣。5重8階。石垣とも40m?。大阪夏の陣で焼失  
徳川家康大阪城天守閣。秀吉天守台を埋め込んで、その上に60mの天守閣。豊臣遺風断つ  
現在の天守閣は昭和6年、鉄筋コンクリート構造58m
- ③江戸城天守閣は秀頼存命中、故秀吉に対抗、日本最大80mの巨大天守閣を構築  
黄金のシャチ燦然とかがやく。白い(秀吉は黒)天守閣  
上物の軽量化+堅固な櫓台=高層化可能に
- ④江戸城に4つの天守閣  
最後の天守閣は明暦3年焼失。天守台構築するも保科正之の反対で日の目をみない

8) 1万1千坪におよぶ本丸御殿、大広間は幕府権威の演出場

- ①本丸御殿総建坪=1万1千坪  
表向き(幕府政庁)3千坪、中奥(將軍官邸)2千坪、大奥(室、側室、子女居所)6千坪
- ②玄関、遠侍、台所、大広間、白書院、黒書院、中奥、大奥を廊下で接続。密集。火災は全焼へ  
各種建築図現存、いずれも先代建物を踏襲。城大工は中井、甲良ら世襲



城と史蹟を歩く会「江戸城と將軍ゆかり地を歩く会」講演（要旨）

「葵 徳川三代」と江戸城＝江戸城の概要といざない 山岸 弘明

日時＝平成13年2月20日（火曜日）14時40分～15時50分

● 2月20日（火曜日）  
「江戸城と將軍ゆかり地  
を歩く会」講演会

於 八幡公民館



「葵 徳川三代」と江戸城＝江戸城の概要といざない。去年のNHK大河ドラマ「葵 徳川三代」を交えながら江戸城を紹介してゆきたいと思います。

壁に大きな地図を張り出しましたが、江戸を描いた大絵図。おおよそ畳2枚、複製ですが大きさは原寸です。左が元禄4年1791年石川流宣の「江戸図鑑綱目」、右は元禄15年1702年、遠近道印の「改選江戸大絵図」。ともに江戸時代を代表するベストセラー版木下絵師です。

元禄15年といえばこの年12月14日の赤穂浪士の討ち入りがいよいよ思い浮かびます。討ち入りされた吉良上野介が本所松坂町にあります。上杉家からの養子「キラ左兵」になっています。吉良邸が松坂町にあったのはわずか1年、大変興味深い江戸図といえます。

隣の2枚、こちらは江戸後期1代將軍家斉時代、文政7年の「分間懷宝御江戸絵図」、こちらは12代將軍家慶、弘化2年「泰平御江戸絵図」。ともにオリジナルです。よくみると実に精巧で美しい。小さく作ってノリで貼り合わせて大きく仕上げたことがわかります。錦絵もそうですが、彫師、刷師、職人たちの技術に驚かされます。

江戸図といえば「大名武鑑」が思いつきます。これは「文政武鑑」。尾張屋文政元年版のオリジナルです。武鑑は紳士録とでもいいたいでしょうか。大名家の情報がぎっしり詰まっています。当時、市原には五井1万石の有馬家が陣屋を構えています。JR五井駅が陣屋跡ですが遺構はまったく残っていません。有馬家を拡大してみました。有馬六左衛門氏貞、8代將軍吉宗のもと側御用取次を勤めた氏倫4代の後胤です。系図、家紋、屋敷、正室、献上品、供揃いのヤリ図。1万石、在所、上総市原郡五井、江戸より13里などと書かれています。

さて、みなさんもNHKの大河ドラマを毎週楽しみにされていらっしゃるのではないのでしょうか。今年には鎌倉時代の中期、元寇期の執権「北条時宗」。鎌倉には時宗の史蹟がたくさん残っていますので機会ありましたらご案内させていただきます。もう去年になってしまいました。20世紀最後の大河ドラマ「葵 徳川三代」。にくにくしいばかりの毒気みなぎる津川雅彦の徳川家康、「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」。じっくり待った家康に勝負の時がやってきます。関が原の合戦、大阪の陣、大名統制、天皇政策。ここ一番の家康の強さは鬼気すら感じさせます。

こちら西田敏行の2代將軍秀忠。恐妻家でお人好し、なぜか憎めません。関が原の合戦は徳川主力軍3万5千を率いますが、上田城の真田幸村に遮られて東西決戦の場、関が原に延着、生涯に悔いを残します。尾上辰之助、若き日の3代將軍家光。父に反抗するワルガキを演じました。テレビは秀忠が亡くなり家光政権のはじまりで「千秋万歳」となりましたが、のち江戸城を完成、徳川幕府の基盤を確立して、名將軍と仰がれることとなります。

さて、本題の江戸城。徳川家の江戸城は、天正18年1590年、豊臣秀吉の小田原征伐で、北条氏の旧領、関東8か国250万石への移封を命じられた徳川家康が太田道灌の築いた江戸城に入ることからはじまります。当時の江戸城は後の本丸にすっぽり入ってしまうほど小さな城でしたが、徳川家康が関が原の戦いに勝って江戸に幕府を開くと、日本の首都としての江戸城工事を開始します。

慶長8年の第1次工事は日比谷入江の海中にあった有楽町駅から東京駅、銀座一帯を埋め立てて城地を広げます。千石夫とよばれる大工事ですが、工事の様子は第1回の歩く会、現地で説明します。濠と石垣が築かれ、本丸、2の丸、3の丸、西の丸、北の丸、吹上お庭、丸の内といった江戸城の基本形が定まります。それぞれに殿舎を構築、初代天守閣も慶長12年に完成しました。

築城工事はこのあと毎年のように行なわれ、2代將軍秀忠をへた3代將軍家光の外堀総構え工事までつづきます。寛永12年から始まった外堀、総構え工事をもって、およそ50年かかった江戸城がついに完成。その規模は豊臣秀吉の大阪城のおよそ2倍、空前絶後、わが国最大の城郭が誕生することになります。江戸城という皇居、と思われている方が多いようです。間違ってもいませんが正解ともいえません。皇居は江戸城の西の丸とよばれた曲輪の1つで、江戸城の一部にすぎません。これは江戸城の概略図です。その範囲はJR駅で有楽町、東京、神田、御茶の水、水道橋、飯田橋、市ヶ谷、四谷、そして外堀通りを赤坂、溜池、虎の門、新橋を結んだ線まで。ほぼ千代田区全域12平方キロメートルにおよびました。JRの中央線に乗るとポットや釣堀がみえます。線路も道路の下の凹地を走っています。実は中央線が江戸城の外堀だったのです。赤坂まではとびとびで外濠が現存していますが、その先、溜池、虎の門周辺は埋め立てられて当時の姿をうかがえません。外堀には巾100メートル近い水濠が巡り、その内側に土塁、白壁の塀が回ります。白壁は8代將軍吉宗の享保の改革で撤去、松に植え変えられます。塀の補修費節約、元禄バブル崩壊後を引継いだ吉宗の緊縮政策の一環です。

外郭には大名屋敷と旗本屋敷が並びます。大名家は徳川家から江戸屋敷を拝領、正室と嫡子を人質として江戸におき、自ら参勤交代で江戸と国元を往復します。この出張旅行を大名行列といいます。こちらは江戸城の最盛期を描いた「江戸図屏風」。本物は佐倉の国立歴史民族博物館の収蔵庫に厳重に保

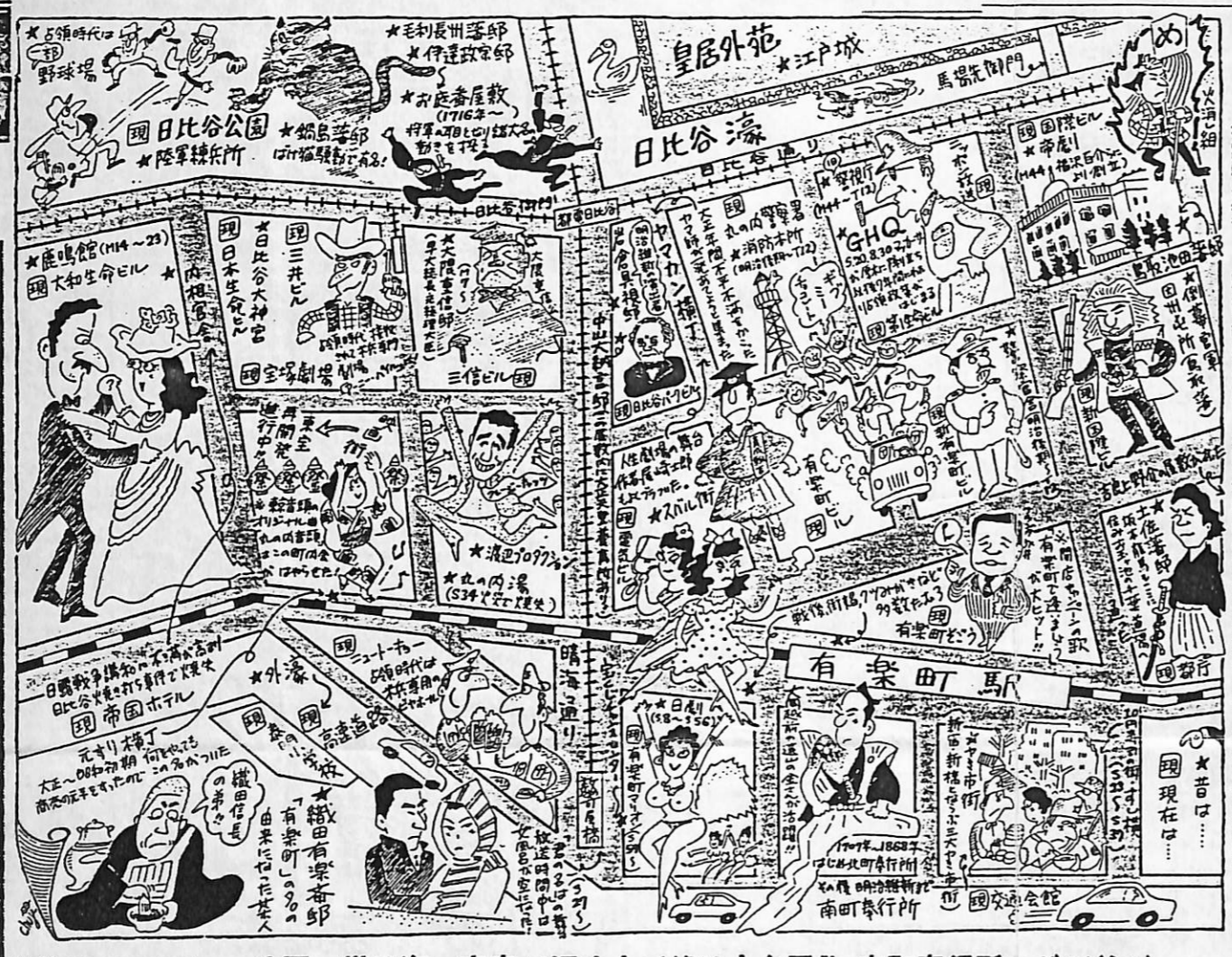
管されています。国宝。お手許の資料にもコピーをお付けしました。6曲左右2隻、金地金雲著色、極彩色の本間屏風。1扇が1メートル62、高さ3メートル66、全部で20メートルほどになります。ここには全盛期、寛永のはじめ3代將軍家光時代の江戸城と江戸城下が詳しく書き込まれています。本丸には本丸殿舎が立ち並び、天守閣が聳えます。城を囲む豪華絢爛、桃山建築は1国1城を意識した大名たちの江戸屋敷です。日比谷側から伊達政宗、島津家久、鍋島直茂、毛利秀就、上杉景勝、浅野長政、黒田長政、加藤清正。「葵、徳川三代」でおなじみ、関が原の合戦、東西両軍の主役が入り乱れます。吹上御苑はご三家尾張義直、水戸頼房、紀伊頼宣。3代將軍家光の弟で自害を命ぜられた忠長邸です。大手門前、一際大きな建物は家康の6男で兄2代秀忠の將軍就任に障りありとして廃絶された松平忠輝邸、のち秀忠兄秀康3代、松平忠昌邸になります。忠昌はこれより先姉崎2万石を領有、市原ともかかわりある人です。手前は加賀前田年長邸。来年のNHK大河ドラマは利家とお松、前田家だそうです。周辺の拡大図です。慶長時代の「当代記」という本に「この1両年中、諸大名の江戸屋敷、屋敷の家作美を尽くし、門は上総介、江戸一番なり。家は加賀国松平筑前1番なり」と書かれています。門一番の上総介、松平忠輝邸はこれ、現在の丸の内1-1A I Uビル、NKKビル。家一番の前田年長邸は大手町1-8ファーストスクエアビルです。道路一本をはさんで向かいあいます。周囲を石垣で囲み、白壁がめぐり4隅に櫓を載せます。濠こそないが城と同じです。門が2つあります。正面一際大きく黄金に輝く御門は御成門、將軍の御成りのための門です。切妻屋根にヒノキ皮葺き、両軒唐破風、黄金の彫刻があります。一日みづめてもあきないことから日暮らし門とも呼ばれます。もう1つの大きな大棟門は主人が公式に出入りする表門です。前田家は櫓門です。放火やいたずらされないよう立ち入り禁止の柵も書かれています。実に細かい描写です。中に御殿がみえます。中央黄色の屋根、大きな建物は御成御殿、手前瓦屋根は藩主の建物です。御成御殿には上段の間、書院などがあります。將軍の御成りに使用し、あとは一切使用されることはありません。主要大部分は將軍家の御成りに備えた御殿で、その横に主人の御殿を作ります。大名といえども「生殺与奪」は將軍の腹のうち一つ。將軍家と友好関係を保つことこそ最大の保身であったからです。それでは大勢の家臣たちはどこに住んだのでしょうか。大半は周囲の白壁の所、ここは2階立ての長屋になっています。単身赴任で藩主の参勤交代にしたがった家臣たちが生活します。前田藩邸というと東京大学の赤門が有名ですが、当時は下屋敷といって別荘。丸の内の加賀屋敷は前田利田家の妻お松が人質生活を送った所、来年の大河ドラマにも登場することになることなのでしょう。「江戸凶屏風」の黒い帯は水濠です。江戸城をご案内すると堀の水はどこから流れてくるのですか、雨で深さは変わらないのですか、といった質問を受けます。濠水の水源は田安台、いまの北の丸公園、千鳥が淵、牛が淵周辺。江戸城紅葉山、半蔵門あたりの天然のわき水です。最近ではコンクリート化が進んで量は少なくなっていますが、まだわき続いています。濠の概念図です。濠は門と門の間でセキ止めされてそれぞれが独立した濠になっています。門の橋台がセキになりオーバーフローした分が次の濠に進みます。橋台の高さで濠の深さを調整していたのです。質問2番目の答えは雨が降っても降らなくても深さは変わらないということになります。江戸城の濠を覗くと緑黒く濁って随分深そうに見えますが実に浅い。大手門正門あたりはわずか1メートル50センチほどしかありません。昔は流量も多く濠底が透き通ってみえたそうですが、いまは水が流れないでよどんでしまいました。濠水は始発濠から15メートルの落差を利用して次々と下の濠、下の濠と進んでゆきます。内堀の終点は日比谷堀と和田倉門の籠の口。ここで外堀に落とされ、さらに江戸湾、東京湾にそそぎます。江戸城では整然と聳える巨大な石垣が出迎え、見る人を圧倒します。石垣に3つの顔があります。大手門側、正面の石垣は壮重、厳粛な表の顔。はりつめる緊張感があります。裏側、北はね橋、深い濠と高い石垣、堅固、権力の象徴。工事を担当した庶民の血と汗がにじみまします。何もかも寄せつけない男性的な力強さに思わず息を呑みます。一方第1回西の丸、日比谷周辺でご案内する西の丸、皇居側。なだらかな緑の土塁が続き、その上に申し訳程度の石垣が乗ります。柔和、調和、一転した女性的な美しさです。石垣のこうした変化も江戸城の楽しみの1つです。江戸城は石の城です。膨大なこれらの石材は、どうやって集めたのでしょうか。慶長8年から12年にかけて行われた第1次江戸城工事。縄張りには藤堂高虎が行ない、石材は池田輝政、福島正則、加藤清正らの西国大名が担当、石積技術のない関東の大名たちは濠掘り、土木工事を担当します。江戸近くのは適当な石材がなく、石は主に伊豆東海岸、真鶴あたりから掘り出されます。絵を見てください。ガケからモッコで吊り下げられた人たちが石ミノとげんのうを使って石を掘り出しています。石の目にそって割ってゆくのだそうです。ミゾを作って焼けヒバシヤや熱湯を入れると温度差で割れる。そんなに簡単にゆくとはいくとも考えられませんが、苦勞を重ねながら適当な大きさにします。輸送は船で江戸に運びます。石舟です。数トンもある石2こをバランスよく積み込みます。積出場近くの海岸には積み損なって海中に落とした石材がたくさん沈んでいると言われています。2千艘の舟を動員、ピストン輸送で石材を運びましたが、ある年、台風で一挙に2百艘が沈没したという記録も残っています。ここにも多くの犠牲者が出ました。陸上げされた石は人力で運ばれます。巨石はシュロとよばれる台座に載せられ、数百人がフエ太鼓にあわせて曳きます。大石はころがし丸太、ベカ車、小石はモッコで運びます。石垣作りは企業秘密、幕府から命令された大名たちがそれぞれの受持ごとに幕を張ってよそからみえないようにします。石積みはあごう衆が担当します。石積みの専門集団です。積み方は、いったんロクロで後方の土塁に上げて吊りさげたとか、ピラミットのように手前に土をスロープを作って引き上げたなどの説ともありますがはっきりしません。重機も何もない時代、大変な勞力を費やして石垣を作られます。7年

ほど前に起こった神戸大地震。コンクリートの建物や高速道路が倒壊、多くの被害を出したことはまだ記憶に新しいところですが、大正12年東京地方を襲った関東大地震、3百年前に作られた石垣はビクともしません。優れた構築技術を証明しました。さて、城といえば天守閣。天守閣は城の象徴で、その城の中心となる櫓をいいます。第1号は織田信長の安土城ですが、もっとも有名なのは豊臣秀吉の大阪城です。豪華絢爛。黄金に彩られます。江戸城を案内すると、大阪城をみたという人がいて、秀吉の天守閣はもっと大きいと教えてくれます。秀吉の作った大阪城天守閣は石垣とも40メートル。元和元年大阪夏の陣で炎上、秀吉の子秀頼と生母淀君が運命を共にします。家康は秀吉の大阪城跡地に新たな城作りを行ないます。焼け落ちた天守台ごと新しい土で埋め立て、その上にすべて58メートルの徳川天守閣を造営します。家康にとって大阪城下の市民や諸大名に秀吉の時代の終焉と家康時代のスタートを形で示した一大パフォーマンスでもあったのです。大阪城の現在の天守閣は戦前、昭和6年に立てられた鉄筋コンクリート石垣とも55メートル。秀吉をイメージして高さを巡らせています。江戸城の天守閣は秀頼在世中の慶長12年、大阪城に対抗、石垣とも高さ80メートルの巨大天守閣を建造します。秀吉の大阪城の2倍。黄金のシャチがサンゼンと輝きます。屋根瓦は重い焼物に変え鉛瓦を使用します。天守台もこれまでの野づら積みを打ち込みハギ、切込みハギへ。強固なものにします。上物の軽量化とそれを支える堅固な天守台の構築がはじめての天守閣高層化を可能にしました。江戸城には4つの天守閣があります。最初の天守閣は家康が作ります。場所は本丸のほぼ中央です。元和8年、江戸城が手狭になったため秀忠が現在地に再築。寛永15年、家光が豪華絢爛に作り直します。明暦3年の大火で焼失。翌万治元年、天守台が再建され天守閣建造への機運がみなぎりますが、家光の弟で4代將軍家綱の後見した保科正之が反対し、ついに日の目を見ることはありません。現在、天守閣跡には將軍家の命を受けた加賀前田家が作った高さ13メートル白御影石の天守台が静かにたたずんでいます。次は建物の話に移りましょう。本丸には1万1千坪におよぶ本丸御殿があります。その構成は表と呼ばれる役所、公式の場が3千坪、中奥という將軍の私邸が2千坪、そして將軍家族、御台所、側室、子女たちの住む大奥が6千坪あります。本丸御殿の半分以上が大奥ということになります。本丸御殿は1つの建物ではありません。大広間、白書院、黒書院、台所、御座の間といった大きな建物の集合体で、松の廊下、竹の廊下などで繋がっています。いったん火事が起きたら止めようがありません。江戸城の歴史は火事の歴史でもあります。明暦大火など5回焼失して建造は8回、数があわないあとの3回は最初の造営と立替えということになります。記録に残る弘化2年の総工費は170万両。1両20万円として現在のお金に計算すると2000億円。これには諸大名に献上を命じたヒノキ材などの経費は入っていません。いわば当時の国家予算にも匹敵する大事業です。最後の本丸となった万延元年度本丸も建築わずか5年の文久3年に焼失します。幕末風雲急をつけるとき、城内には付け火の噂も飛び交って14代將軍家茂は枕を高くして眠ることもできません。食事は紀伊からしたがった老女に作らせることになりました。明治維新まであと5年、江戸城には本丸、2の丸、3の丸、西の丸すべてないという、信じられないような事態を招きます。幕府は西の丸に仮本丸を造営、以降本丸機能を西の丸に移すことになりました。こちら江戸城権威の演出場で最大の舞台＝大広間。桃山建築、間口25間、奥行25間、建坪が600坪あります。平面図です。上段の間、中段の間、下段の間、2の間、3の間、4の間と続きます。諸大名調見の図です。60センチほど高い上段の間に將軍が着座します。中段は幕閣、下段に平伏しているのは大名です。毎月1日、15日、1月1日、3月3日、5月5日などの式日は大名たちの登城日です。絵のように1人で將軍に謁見できる人はこれはすごい偉い人です。位によって進める畳の枚数が決まっています。大名は畳を数えながら前に進みます。將軍の謁見は一瞬、大半は団体でみ簾ごし、奏者番の紹介のあとへへーっと平伏して終わります。9代將軍家重は病弱で廢人同然です。寛永寺参詣のときソソウがあつてはいけないと、500メートルごとにトイレを作ったので「小便公方」のアダナがつきます。人と逢うことが嫌いでいつも大奥にいて表に出てきません。諸大名はみ簾の下がった無人の上段に向かって平伏しました。最後は大奥です。常時、500人から2千人の大奥女性たちが生活する將軍家のハーレムです。大奥は大きくわけて御台所の居住する御殿向き、側室や女中たちの住む長局向き、侍たちが働く広敷向けの3つに分かれます。御台所のいる御殿向きの居室部分です。上段の間、下段の間、2の間、3の間、休息の間、化粧の間があります。このブロックは行事に使われます。毎朝、將軍が大奥にやってきてお清の間の位牌に参り、目見え以上の挨拶を受けます。有名な絵触れです。長局向きは左から1の側、2の側、3の側、4の側、横の側とおよそ100室あります。側室たちは1の側に住みます。奥から1の部屋、2の部屋、3の部屋……。時代によって違いますが定員は部屋数の9人ということになります。1の部屋に住む側室は1番えらいことが多い。部屋の番号から1のお部屋様、2のお部屋様と呼ばれたりもします。側室たちの争いは、老中や諸大名を抱き込んだ將軍家後継騒動に発展し、ときに政治に口だしして幕閣たちを悩ませます。有名なお鈴廊下はここ。こちら上お鈴廊下、時代によっていちがいにいえませんが、將軍の御台所への専用廊下。こちら下お鈴廊下、側室への連絡通路です。この一角は文字通り將軍以外男子禁制、鈴の音を合図に大奥にバトンタッチ。絵は引継ぎの図です。中奥小姓から大奥、坊主婆の女性が將軍の太刀を受け取っています。こちら正室との寝室、お小座敷御上段の間、蔦の間で床入り。將軍の使命は世継ぎの誕生、せせせと子作りに励むことになります。ほかにも話題はたくさんありますが、あとは当日、ご案内のときのお楽しみにいたします。どうもありがとうございます。

# the有楽町歴史散歩道

編集・発行\*山岸弘明  
市原市長尾台東3-1-7アソカ社宅7-403  
勤務先  
電気化学工業株式会社(株式会社モリブテア出向)

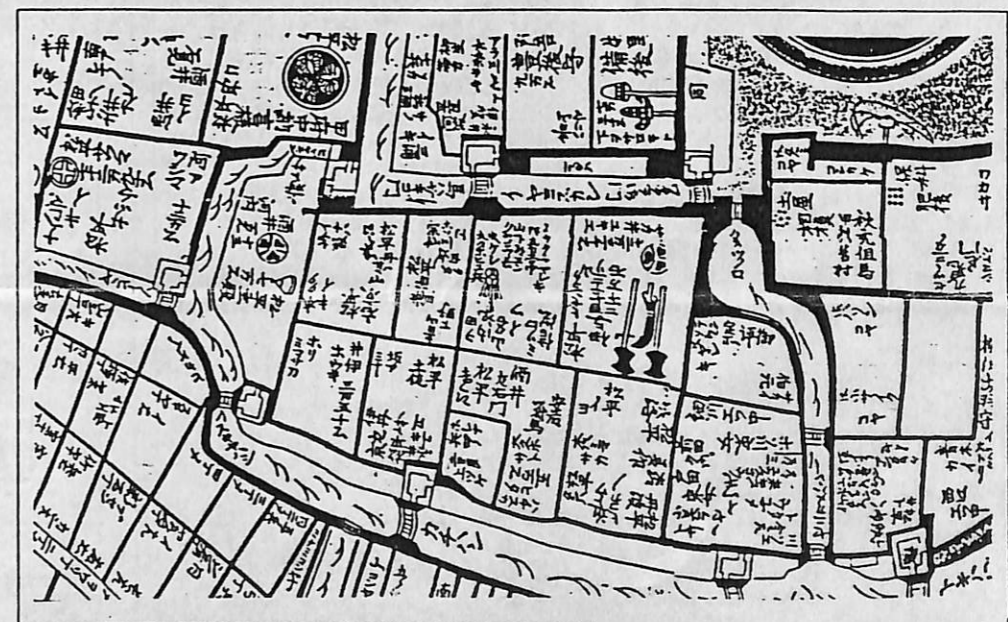
有楽町の100年前は江戸城の一部であった。蛇のように曲がりくねった高速道路のところに外濠があり、その有楽町側に石垣が積まれて、銀座側の江戸城下と一線を画していた。当時の有楽町は将軍家への人質と参勤交代のための大名屋敷が連なる丸の内の一部で日比谷通りを登城のための大名行列が静々と進んだ。ここには徳島、高知、鳥取、高崎、島原、笠間などの藩邸や大岡越前の活躍した南町奉行所があり、日比谷公園の地に、伊達政宗、毛利輝元、鍋島直茂らが邸地を受けた。明治維新では官軍屯所や明治元勳邸にかわり、陸軍本拠や警視庁、府庁などが開設された。戦後の混乱期は米軍進駐軍のGHQがおかれ、闇市に夜の女とかっぱらいが横行した。映画と観劇の街として戦後の暗闇に夢と勇気を与えたのも有楽町であった。首都東京の顔として繁栄する有楽町の400年はまさにわが国近代史の縮図でもあった。



500年が  
くくなる人

遠藤周作さんから注文殺到

公園一帯は海一家康が埋め立て後は大名屋敷、南町奉行所などが並び...



電気化学工業  
山岸弘明さん  
80歳の小冊子にまで自己出版

「80歳の小冊子にまで自己出版」  
山岸弘明さん(80歳)の自伝的小冊子「80歳の小冊子にまで自己出版」が、最近出版された。山岸さんは、電気化学工業株式会社(モリブテア)で勤務する。この小冊子は、山岸さんの人生の歩み、仕事、そして創作活動について詳しく語っている。山岸さんは、小説家として知られる遠藤周作さんから注文殺到を受けたという。この小冊子は、山岸さんの人生の歩み、仕事、そして創作活動について詳しく語っている。山岸さんは、小説家として知られる遠藤周作さんから注文殺到を受けたという。

○はじめに海ありき  
江戸城は長祿2年(1458)に大田道灌が開き天正18年(1590)徳川家康の居城となった。しかし当時の江戸は日比谷入江が入り込んで、有楽町の地はその海底にあった。慶長5年(1600)の関が原の戦いで天下を統一した家康が慶長8年に征夷大将軍に就任し、江戸は幕府としての賑わいを見せることになる。この年江戸城と江戸城下建設が始まった。神田山を切り崩した土が日比谷入江に運ばれ、有楽町が生まれた。千石夫とよばれたこの工事に結城秀康、本多忠勝、伊達政宗、加藤清正ら全国の有力大名60家が従事した。江戸城の増築工事は以後毎年のように繰り返され、20年後の寛永年間によく完成した。

①日比谷濠、皇居外苑石垣  
日比谷交差点に接した溝々と水面をたたえる濠と縁に覆われた石垣。濠は日比谷入江埋め立て時に作られ、石垣は慶長19年に加藤清正の嫡子広忠と広島藩主の浅

野長あきらが構築した。泥湿地のため松の木でいかだをつくり、その上に伊豆半島から石船で運んだ巨石を積んだ。浅野家の工事は途中石くずれして多数の死傷者を出し、加藤家は江戸中の子供たちを集めて踏み固めた。

②旧八重洲河岸  
江戸時代、日比谷通りの東京駅あたりから日比谷濠にかけての約2キロを八重洲河岸、八代洲河岸などとよんだ。毎月1日、5節句などの登陸城日に行列ラッシュが繰り返された。

③日比谷御門升型、大番所跡  
日比谷御門は日比谷公園交差点側のうっそうとした木立にかこまれた地にあった。寛永6年(1629)に伊達政宗が造営、明治6年(1873)まで、大手6門につく江戸城のかなめで、升型は入口が狭く一度に大勢が入れないといういったん中に入ると三方から射られるようになっていた。升型に接して大番所があり、鉄砲、弓などを常備した番士が通行人を見張った。

④日比谷御門石垣、周辺外濠跡

日比谷濠から外濠につづく日比谷御門周辺の濠は慶長8年に掘られ、石垣は寛永4年浅野長あきらが造った。明治36年日比谷公園が竣工したとき撤去、埋め立てられたが、石垣と城濠の一部が保存された。日比谷公園の心字池とそれに連なる石垣で、四百年の年輪を刻んでいる。

⑤数寄屋橋御門升型、大番所跡  
⑥旧数寄屋橋跡  
江戸城と城下を仕切った数寄屋橋御門が有楽町マリオンにあった。升型は旧朝日新聞側で旧日劇側で大番所があり、橋は現在の晴海通りとはほぼ直角に掛かっていた。寛永6年伊達政宗の造営だが明治6年升型が撤去されて40年まで中2メートルほどの木橋だけになった。

⑦数寄屋橋御門周辺外濠、石垣跡  
数寄屋橋御門周辺の外濠に石垣が造られたのは寛永13年の外濠総曲輪工事。この時外濠がほり回され虎の門、赤坂門などが築かれた。石垣は明治40年に撤去され、外濠は昭和31年まで有楽フードセンターのところにあった。

夕刊フジ  
昭和61年5月22日付け  
紙面から(部分)  
おことわり  
紹介小冊子の在庫はありません

⑧山下御門跡  
帝国ホテルから行幸通りにすむちょうどJ線ガード下に山下御門があった。寛永13年熊本細川忠利がたてた升型門で明治6年撤去された。外日比谷御門、鍋島御門などもあった。

⑨伊達政宗邸(桜田屋敷)、仙台湾上屋敷跡  
日比谷公園の交差点側に伊達政宗邸があった。NHKの大河ドラマ「独眼龍政宗」の舞台となった伊達家桜田屋敷で、慶長7年から万治4年(1661)まで仙台62万石藩主4代が住んだ。櫓門の表門のほか金箔を施したお成り門があり、あまりの美しさにみとれて時間のたつを忘れたことから「日暮し門」の異名をとった。桜田邸には家康、秀忠、家光の三将軍がおこり。政宗が倒れたとき家光が藩邸を見舞った。異例のことであった。

⑩阿部白河藩上屋敷跡  
帝国ホテルの地の元和7年(1621)から明暦3年(1657)が伊達家中屋敷で、後に本多、阿部、井上、堀田氏などに変わった。

最後が10万石の白河藩邸で井伊直弼時代老中・阿部正外をだしたが、明治維新の戦いでは新政府軍の猛火を浴びた。また、一時幕末期の代表的幕閣として知られる板倉勝静邸になったこともあった。

⑪毛利萩藩上屋敷跡  
関が原の合戦で西軍総大将となった毛利輝元は戦後、家康に臣従して家の存続をはかった。慶長6年嫡子秀就を人質として江戸へ差し出し、8年日比谷公園のテニスコート周辺に邸地を受けた。12年に本格的な桃山風御殿が完成、その後の添地増築で最後は17,000坪となった。日比谷公園には36万石藩主13代が住み、元治元年長州征伐に先立ち没収された。

⑫鍋島佐藩上屋敷跡  
佐貫35.5万石鍋島12代の上屋敷が日比谷公園の正面一画に慶長6年から明治2年まであった。初期の表門櫓門はとくにみごとく江戸城門と比すと記した書物もある。この邸で能楽寺高房が自殺し、「鍋島騒動」の舞台にもなった。

⑬島津薩摩藩上屋敷、装束屋敷跡

元禄6年の有楽町

○甲府中納言邸\*徳川綱豊甲府35万石上屋敷  
○松平長門守邸\*毛利吉就萩36万石上屋敷  
○松平丹後守邸\*鍋島光茂佐賀35.7万石上屋敷  
○松平藤堂守邸\*島津家 鹿児島72万石上屋敷  
○阿部对馬守邸\*正邦福山10万石上屋敷  
○上村土佐守邸\*植村忠朝千葉県内1.1万石上屋敷  
○酒井河内守(雅楽頭家)邸\*忠孝前橋13万石上屋敷  
○松平主殿頭邸\*忠房島原6.5万石上屋敷  
○稲葉丹波守邸\*正往小田原8万石上屋敷  
○本多紀伊守邸\*正永沼田4万石上屋敷  
○松平伊守邸\*信備笹山5万石上屋敷  
○松平右京亮邸\*大河内輝常高崎7万石上屋敷  
○堀美作守邸\*親常飯沼2万石上屋敷  
○井伊右衛門守邸\*信武掛川3.5万石上屋敷  
○松平伯耆守邸\*池田綱清鳥取32万石上屋敷  
○松平土佐守邸\*山内豊昌高知24万石上屋敷  
○坂部三十郎邸\*広利旗本5千石  
○伊丹左京邸\*勝守徳美1万石上屋敷ほか。銀台橋側に「忠臣蔵」仇役の吉良上野介邸も見える。

平成13年1月 日

シリーズ企画(4回) 江戸城と將軍ゆかり地を歩く

城と史蹟を歩く会

- 準備会 2月20日(火曜日) 顔合わせ打合せ、『葵 徳川3代』と江戸城(概要説明)  
八幡公民館会議室13時30分~およそ2時間
- 第1回 3月 9日(金曜日) 江戸城西の丸周辺と日比谷、有楽町を歩く  
八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、有楽町駅下車  
主なコース) 日比谷見附跡 — 日比谷濠 — 桜田門 — 二重橋 —  
西の丸下跡 — 伊達政宗挺跡 — 日比谷公園(昼食) — 人生劇場山勘  
横町跡 — マッカーサー執務室 — 福島正則邸跡 — 国際フォーラム  
— 有楽稲荷 — 南町奉行所跡 — 数寄屋橋 — 織田有楽斎邸跡 —  
鹿鳴館跡 — 有楽町映画街 — 有楽町駅 — 八幡宿駅  
雨天予備日) 3月16日(翌週同曜日)
- 第2回 4月 6日(金曜日) 上野公園周辺、寛永寺、谷中を歩く(お花見)  
八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、日暮里駅下車  
主なコース) 天王寺 — 谷中霊園將軍御台所墓所 — 徳川慶喜の墓 —  
寛永寺 — 徳川將軍霊廟(垣間みる)、勅額門 — 両大師 —  
池田屋敷門 — 上野公園(昼食) — 清水堂 — 彰義隊の墓 — 上野  
戦争最激戦地跡 — 上野東照宮(200円) — 上野駅 — 八幡宿駅  
雨天予備日) 4月13日(翌週同曜日)
- 第3回 5月 8日(火曜日) 江戸城、皇居東御苑を歩く  
八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、東京駅下車  
主なコース) 和田倉門 — 坂下門 — 内桜田門 — 巽櫓 — 大手門  
— 大手3の門跡 — 本丸御殿跡 — 富士見櫓 — 松の廊下跡 —  
北はね橋 — 北の丸公園(昼食) — 天守台 — 大奥跡 — 2の丸庭園  
— 梅林門 — 平河門 — 丸の内線大手町駅 — 東京駅 — 八幡宿駅  
雨天予備日) 5月15日(翌週同曜日)
- 第4回 6月 4日(月曜日) 江戸城裏側を歩く  
八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、有楽町駅下車、  
都バス三宅坂  
主なコース) 三宅坂 — 半蔵門 — 半蔵堀 — イギリス大使館 —  
千鳥ヶ淵 — 旧近衛師団司令部 — 乾門 — 北の丸公園(昼食) —  
田安門 — 牛が淵 — 番書調所跡 — 清水門 — 清水堀 — 竹橋門 —  
東西線竹橋駅 — 西船橋駅乗換 — 千葉駅 — 八幡宿駅  
雨天予備日) 6月11日(翌週同曜日)

- 1) 募集人員 15名程度
- 2) 参加資格 通常程度歩けること。原則としてシリーズを通して参加できること
- 3) 服装と持物 軽装、歩きやすい履物。昼食、飲物
- 4) 雨天連絡 予備日に延期。悪天候の場合、朝6時から連絡網で連絡
- 5) 会費 ①~④各回500円(資料代として)  
保険はありません。各自注意しましょう。
- 6) ご案内 山岸弘明(会社員OB、江戸城周辺史研究、史蹟研究)  
問い合わせ先 郵便番号290-0069  
市原市八幡北町2-12-12-501 電話42-2237(午前希望)

以上

平成13年2月20日

「江戸城と将軍ゆかり地を歩く会」顔合わせ打合せ資料

城と史蹟を歩く会

1) 主催者＝城と史蹟を歩く会趣旨と世話人の紹介

- ①会の趣旨＝城と史蹟を楽しみながら歩くこと  
会結成最初の行事。参加者有志の賛同をえて発展的に継続させたい
- ②世話人 案内担当＝山岸 弘明（城郭史蹟研究、東京＝城を歩く会ほか講師）  
" 写真担当＝国分 三男  
" 会計担当＝高沢 恒子  
" 総務担当＝鷺津 寛子

2) 参加者と乗車駅グループの確認 (◎印乗車駅グループ世話人)

4) 服装、注意事項など

- ①服装＝軽装（当日の天候により厚薄注意ください）、ズックなど歩きやすい履物、リュックをおすすめします。
- ②持物＝昼食（東京駅でも買えます）、飲物（途中自販機はあります）、携帯傘、ビニールなど軽い敷物（昼食時に椅子がないことも考えられるため）
- ③雨天連絡＝できるだけ計画通り実施したいが雨天なら予備日に延期。中止のとき当日朝決定、6時30分ごろ世話人から電話連絡します。
- ④保険＝ありません。各自注意しましょう。
- ⑤ネームカード＝メンバー識別のためつけます。第1回で配付、毎回持参してください。
- ⑥お願い＝先頭はゆっくり、後ろは離れないで。信号はすばやく1回、途中赤に変わった場合は無理渡りをしないでください。  
マイクの用意はありません。説明は集まって。説明中の私語はやめましょう。質問は移動中に、面白いものは紹介します。

5) 集合と乗車電車（4回とも同じです）

- ①乗車駅改札口前10分前まで集合。会費500円集金、案内資料配付（姉崎駅乗車者を除く）  
乗車券は各自購入。八幡宿－有楽町は820円、八幡宿－日暮里は960円（第4回は復路が変わりますからご注意ください）
- ②八幡宿駅8時10分発千葉行き各駅停車8両編成、後部1～2両乗車（1番空いている）  
八幡宿から2駅、8時23分蘇我着下車、京葉4番線ホーム移動、先頭1～2両分散整列（前から6人くらいまで座れます）、8時32分入線、41分発京葉線東京行き快速電車乗車、9時26分東京着
- ③到着ホーム乗車車両直前にミニコンビニがあります。弁当を購入される方はお急ぎどうぞ
- ④ホーム一段上フロア階段側にトイレがあります。トイレタイム。トイレ前集合
- ⑤以降の行程は後出スケジュールにそって団体移動  
注意＝指定電車に乗り遅れた場合、次の八幡宿駅8時20分発でも蘇我で追いつきますが座れません。それ以上の遅れは行程をみて追いかけてください。

6) 欠席その他連絡、問い合わせ先

- ①欠席は前回の歩く会で受付時、以降は電話で。申し出ない限り参加として準備いたします。
- ②連絡、問い合わせ先  
☎290-0069 市原市八幡北町2-12-12-501  
山岸弘明 電話42-2237（午前希望＝午後は不在が多いので）または各世話人

7) 主要行程とみどころ

- 第1回 3月9日（金曜日）江戸城西の丸周辺と日比谷、有楽町を歩く  
八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換（座れます）、有楽町駅下車  
\*主なコース）日比谷見附跡－伊達政宗邸跡－日比谷濠－桜田門－皇居二重橋－西の丸下跡－日比谷公園（昼食）－マッカーサー執務室－福島正則邸跡－国際フォーラム－有楽稲荷－南町奉行所跡－数寄屋橋－織田有楽斎邸跡－鹿鳴館跡－有楽町映画街－有楽町駅－東京駅－八幡宿駅  
雨天予備日）3月16日（翌週同曜日）  
\*みどころ）別紙「有楽町歴史散歩道」（受付時配付）参照  
桜田濠と桜田門＝美しい緑の土塁、江戸城現存升形、重要文化財、桜田門外の変跡  
皇居二重橋＝皇居の正門、家康隠居城、幕末4年間の仮本丸  
皇居前広場（西の丸下跡）＝幕閣官邸跡、老中らが居住。60年安永流血の決戦

第2回 4月 6日(金曜日) 上野公園周辺、寛永寺、谷中を歩く(お花見)  
 八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、日暮里駅下車  
 \*主なコース) 天王寺 — 谷中霊園將軍御台所墓所 — 徳川慶喜の墓 — 寛永寺 —  
 徳川將軍霊廟前、勅額門 — 両大師 — 池田屋敷門 — 上野公園(昼食) —  
 清水堂 — 彰義隊の墓 — 上野戦争最激戦地跡 — 上野東照宮(200円) — 上野駅 —  
 東京駅 — 八幡宿駅  
 雨天予備日) 4月10日(火曜日=変更しましたのでご注意ください)  
 \*みどころ) 上野公園の花見、天王寺の花見=わが国最大のお花見場、ちょうど見頃か  
 將軍霊廟、勅額門=4代家綱、5代綱吉以下6將軍が眠る。両軒唐破風門、みごとな彫刻  
 池田屋敷門=丸の内の鳥取藩邸表門を移築保存  
 彰義隊墓と最激戦地跡=寛永寺正門の黒門めぐりの攻防を詳解  
 上野東照宮=徳川家康を祀る。日光、久能山と3大東照宮。唐門など国宝、金箔まばゆい

第3回 5月 8日(火曜日) 江戸城、皇居東御苑を歩く  
 八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、東京駅下車  
 \*主なコース) 和田倉門 — 坂下門 — 内桜田門 — 巽櫓 — 大手門 — 大手3の門跡 —  
 本丸御殿跡 — 富士見櫓 — 松の廊下跡 — 北はね橋 — 北の丸公園(昼食) —  
 天守台 — 大奥跡 — 2の丸庭園 — 梅林門 — 平河門 — 丸の内線大手町駅 —  
 東京駅 — 八幡宿駅  
 雨天予備日) 5月15日(翌週同曜日)  
 \*みどころ) 3点セット=巽櫓、内桜田門、富士見櫓を望む。テレビの江戸城定番カット  
 大手門=威儀を正して登城、大ラッシュ。門扉現存、シャチ、鉄板注目、渡櫓門が圧倒  
 濠と石垣=堅固な守り、慶長期の石垣が健在、石組に打込み、切込ハギ、算木組  
 本丸殿舎跡=歴代將軍が起居、権威の舞台大広間上段の間、あこがれの大奥  
 天守台、天守閣跡=櫓台は現存。80メートル、日本最大の天守閣が江戸市中を睥睨  
 北はね橋=深い濠水面、そびえる石垣、思わず息を呑む迫力

第4回 6月 4日(月曜日) 江戸城裏側を歩く  
 八幡宿駅8時10分乗車、蘇我京葉線乗換(座れます)、有楽町駅下車、都バス三宅坂  
 \*主なコース) 三宅坂 — 半蔵門、半蔵堀 — イギリス大使館 — 千鳥ヶ淵 —  
 旧近衛師団司令部 — 乾門 — 北の丸公園(昼食) — 田安門 — 牛が淵 —  
 清水門、清水堀 — 竹橋門 — 東西線竹橋駅 — 西船橋駅乗換 — 千葉駅 — 八幡宿駅  
 雨天予備日) 6月11日(翌週同曜日)  
 \*みどころ) 半蔵門、半蔵堀=美しいはちまき土居、水源。皇居裏門、かつて北の丸への門  
 吹上お庭=將軍家庭園、江戸はじめは尾張、紀伊、水戸御三家邸も  
 北の丸=本丸北の守り。忠長、千姫、春日局、のち田安、清水御三卿邸。維新後近衛師団  
 田安門、清水門=現存升形門、重要文化財。堅固な守り、横矢、橋台の水位調節機能

8) その他

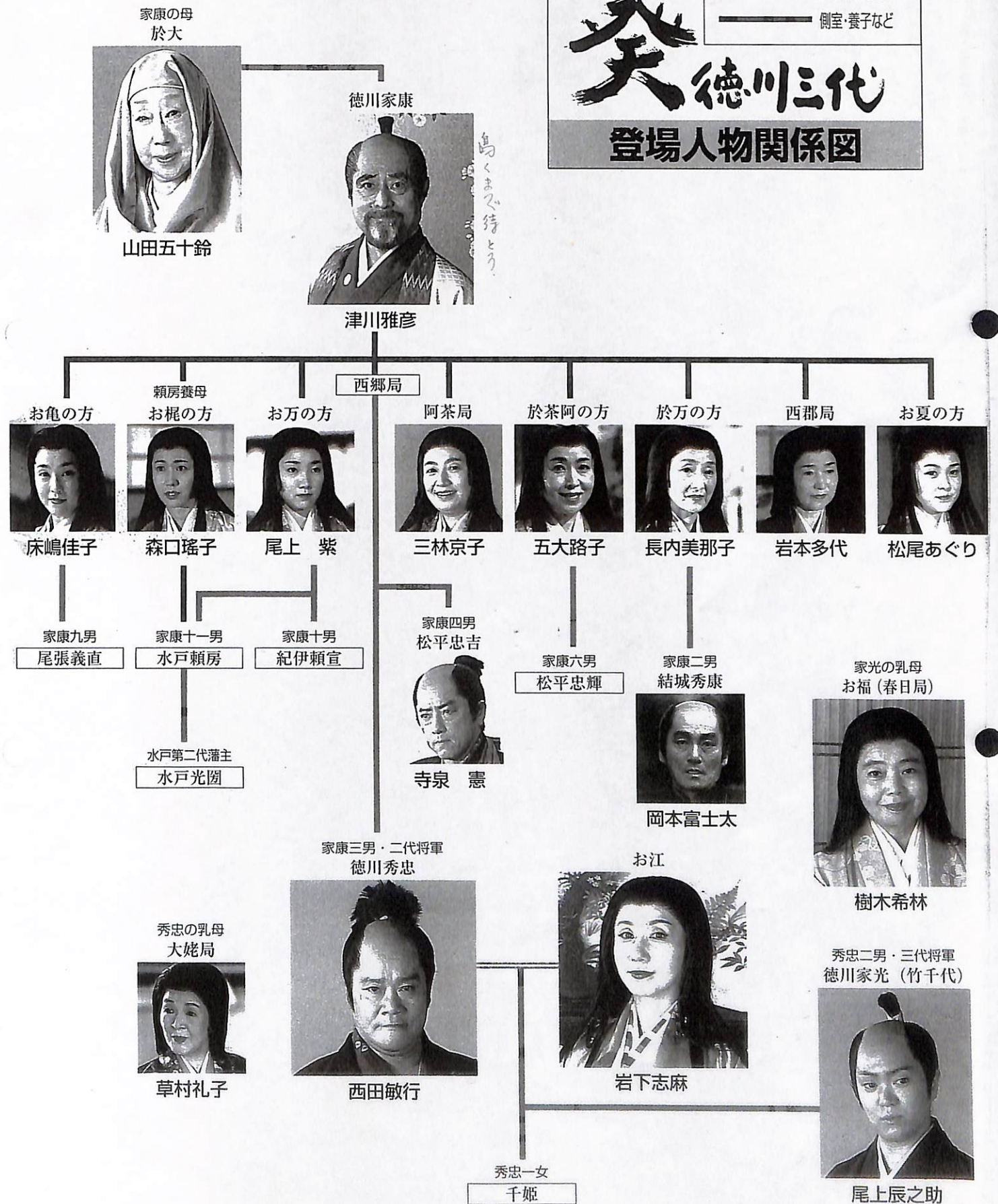
集合写真とアルバムコピー、10日後くらいにできます。八幡、五井駅近くの方はご自宅の郵便  
 受けへ。遠い方は次回お渡しします。

何かと不行届きもあるかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

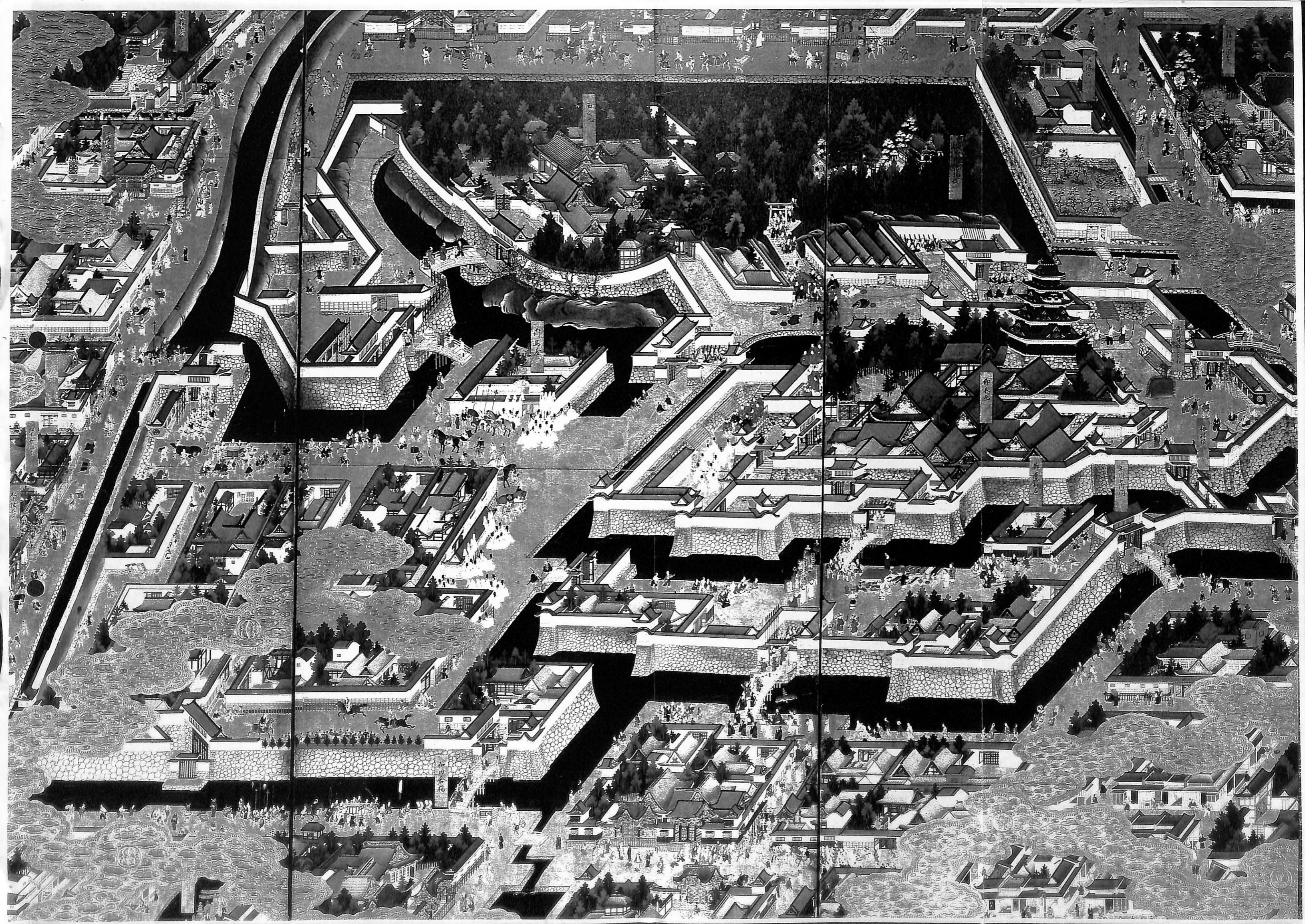
以上

# 徳川家

Legend:  
 — 血縁関係 (Blood relationship)  
 — 夫婦関係 (Marriage relationship)  
 — 側室・養子など (Concubine, adopted child, etc.)







# 二案内コース 外桜田内

外桜田内

皇居-重橋前

第1回 3/9

江戸城の丸の内  
と日比谷公園を  
歩く

★占領時代は一部野球場  
現日比谷公園  
★陸軍練兵所



日比谷公園  
日比谷御門

日比谷公園  
日比谷通り

皇居-重橋前  
馬場先御門

現国際ビル  
★帝産川  
福沢百介社創立



3丁馬丁



★鳴館(M14~23)  
知生命ビル



★大隈重信邸  
★大隈重信邸  
★大隈重信邸

現丸の内警察署  
★消防本所  
★大正年間不平等条約を  
大隈重信邸に署名した  
師範校長の遺跡

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★倒幕官軍  
因州此所(鳥取藩)



★東宝  
★東宝  
★東宝

★浪遊のワゴン  
★丸の内湯  
(S34火災火災)

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル



★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

日露戦争講和に不満が高叫  
日比谷火災を打ち事件で火災失  
帝国ホテル

★外濠  
★外濠  
★外濠

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル



★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

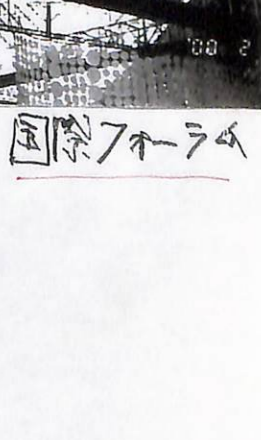


★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル

★有楽町ビル  
★有楽町ビル  
★有楽町ビル



表明小学校

イラスト  
アオシマ チュウジ

ステヤ橋外

南町奉行所外